※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	硬筆習字	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	しっかり身につく文部科学省後援硬筆書写技能検定３級のドリル 美しい小筆字（日本習字普及協会出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「硬筆書写技能検定３級」の合格を目指した技術対策および理論の筆記テストを行います。
・書体の特徴を捉え半復練習を行い、書写の実技向上を目指します。
・硬筆で書表現を楽しむ。

2　学習の到達目標

・硬筆を中心に、その表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎練習	・執筆法 ・楷書 ・行書 ・ひらがな ・カタカナ	a:文字の特徴や字形、大きさ、配置、運筆と表現効果の関わりについて理解し、文字を美しく整えて表現するために、必要な技術を身につけている。 b:整った文字の美しさを感受し、各文字に応じて適切な字形や大きさ、配置、運筆などを工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い表現、鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りプリント 観察
	硬筆検定に向けて	・プリント学習 ・速書き、横書き、縦書き ・楷書の練習 ・行書の練習 ・はがきの表書き ・掲示物の書き方 ・漢字の部分の名称 ・漢字の筆順 ・草書の読み方 ・正誤判断 ・模擬試験	a:文字の特徴や字形、大きさ、配置、運筆と表現効果の関わりについて理解し、文字を美しく整えて表現するために、必要な技術を身につけている。 b:整った文字の美しさを感受し、各文字に応じて適切な字形や大きさ、配置、運筆などを工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い表現、鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りプリント 観察
後期	実用書	・祝儀袋について ・祝儀袋の書き方 ・封筒の表書き ・年賀状 ・賞状の書き方	a:用具・用材の特徴や線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解し、目的や用途に即した効果的な表現の技能を身につけている。 b:目的や用途、表現形式に応じた表現、現在に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に実用書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度